

2/23 韓国民民主主義の胎動—忠清南道洪城郡洪東面プルム農業学校

2/23 洪東面—全て手作りの村の図書館長、プルム学校の校長もされた洪先生にご挨拶。

83歳、この道60年。図書館のプレートには、南北共同宣言、自主平和統一と日本の平和憲法を支持する地域と書いてあった。この地域の教育の原点であると言われた。「虐げられてきた部落や、在日が輝ける社会を作るため、若い方たちの訪問を歓迎します」と流暢な日本語でおっしゃられて驚いた。

プルム学校の朴先生からは、無教会主義の内村鑑三と同じ教会のメンバーが農業を通じて地域おこし、人格教育を行う事を始めた歴史を学ぶ。

農村の地域のリーダーは、植民地時代に危険視され今で言うコミュニティ活動でも弾圧された。解放された後は、南北戦争で犠牲になった。次は軍事政権に抑圧された。農村の人材はことごとく潰されてきた歴史がある。

1975年から愛農学校の小谷先生が日本の植民地時代を深く反省され、この地域に有機農法を伝えられた。今でも姉妹校として交流している。2000年から政府の補助をもらった。

しかし自立の精神で軍事政権下でも給料遅配があっても守ってきたものを失わないか？など、厳しい議論があった。

今では全国的にマウル共同体づくりのモデルとして注目されるが、長い取り組みの歴史がある。朴先生もきれいな日本語で説明していただき驚きました。

